

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0770102499		
法人名	医療法人社団 敬愛会		
事業所名	敬愛シニアガーデン桜堤 コスモスユニット		
所在地	福島県福島市八木田字井戸上50-1		
自己評価作成日	平成29年8月28日	評価結果市町村受理日	平成29年11月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.jp/07/index.php>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県福祉サービス振興会		
所在地	〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3		
訪問調査日	平成29年10月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 地域で行われる高齢者の集い『ふれあい広場』や行事等には率先して参加させていただき、また当施設内で認知症サポーター養成講座を開催させていただくことで、地域との結びつきを重視しております。
2. 利用者様には施設内で過ごすばかりではなく、毎月外食やドライブなどを企画し気分転換を図って頂いております。
3. 医療法人が運営しているため、急変時にも病院との連携がスムーズとなっております。
4. 毎月2回の往診・歯科往診、月4回の訪問看護を実施しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様に地域の中で一年を通じ、心豊かに楽しんで生活して頂ける様サービスの実践に努めております。基本理念は事務所内や廊下など日頃から職員の目につくところに掲げております。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会で開催される高齢者の集い『ふれあい広場』に参加したり、ボランティア活動をされている地域の方に来所していただき交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	当施設内で認知症サポーター養成講座(オレンジリング講習会)を開催し、地域の方にもご参加いただき、認知症の理解と支援方法を共に学びました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	運営推進会議の際は、実施した行事や生活の様子について写真を添付した資料を配布し、わかりやすいように配慮している。また、問題点も説明し、ご意見を頂くことで今後の改善に役立てています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの方を、運営推進会議にお招きしたり、市役所や支所主催の研修会に参加するなどし、日頃から連携を密にする努力をしております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部で実施している身体拘束などの研修会に参加し、学んだことを施設内で内部伝達講習会を開催、学びの場を設けている。帰宅願望の強い利用者様が不穏時などの対策に玄関を施錠していたが、今後は日中の施錠をやめる方向で検討中である。入居時や運営推進会議の際にご家族様へ『高齢者のリスクについて』説明させていただいております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部で実施される虐待防止の研修に参加し、学んだことを、施設内の伝達講習会で発表している。また、更衣や入浴介助の際には痣や怪我がないか確認をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	コスモスユニットには後見人制度を利用している利用者様はおりませんが、他のユニットにはいらっしゃるので、学ぶ機会・必要性が増えました。今後はケアマネージャーや職員同士で学んでまいります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に契約書と重要事項説明書の読み合わせを、その都度質問疑問がないように確認しながら実施し、施設について十分に理解いただけるよう心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し投書していただくと共に、面会時や電話等でも要望があった場合には、その都度速やかに協議対応しております。日頃から利用者様やご家族様には話しやすい雰囲気作りをし、ご家族の面会時や、毎月郵送するお手紙の中で生活の様子をお伝えしております。意見・要望を聴取し、その内容は職員間で協議し運営に生かさせていただいております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者やユニットリーダーは、日頃から職員一人一人の意見や要望を聞くように努め、月1回ユニット会議と全体会議を開催内容を協議し、必要に応じ運営に反映できるよう努めております。代表者は月2回の往診時に、利用者様や、職員にも声掛けを行っております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給休暇を含め休みを個々が取りやすいよう、勤務表作成時にはお互いに協力し調整しあっております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に職員は積極的に参加しております。研修後には伝達講習会を内部で開催し、職員間で知識や技術の向上を行っております。介護福祉士の資格取得を目指している職員には、実務者研修などに参加しやすいようにシフトを考慮いたしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部の研修、また同法人内の他施設で実施する研修会にに参加することにより、同業者の方と交流が持つことで刺激となり、サービスの質の向上につながっている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様に適切な声掛けを行い、コミュニケーションを図り、信頼関係を築くことを心掛けている。ご家族様、利用者様から要望をお聞きし、安心して生活が出来るような、支援を努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様には担当の職員を決め、良好な関係づくりを心掛けています。入居時やケアプラン更新時にはご家族の要望や不安をお聞きし、取り入れております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様やご家族様が希望される場合には、訪問マッサージや訪問美容院などの外部サービスを利用させていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様には馴染みのある家事などのお手伝いを実施していただき、役割を持ち、自信が持てるよう配慮しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時や運営推進会議において、利用者様の個人的な買い物や通院の付添などはご協力いただけるよう、説明ご納得頂いているため、利用者様を共に支えていく関係は築かれていると思います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様のご家族様やご友人が面会に来られた際には、居室でゆっくりとお話ができるように配慮しております。また、利用者様が電話で話したいと希望される場合は、施設の電話を自由にご利用いただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席を決める際は、気の合う利用者様同士を同じテーブルにし、会話や食事等を楽しめるように配慮しております。また必要に応じ、座席の配置変更するなど工夫しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、希望があれば相談に乗ったり、遊びに来ていただいたりしております。中には契約終了したご家族様が、現在ボランティア活動で来所してくださっております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン更新時には必ず利用者様ご本人のご意向を確認しております。また、意思の疎通が困難な場合には、日頃の利用者様の様子・状態を推測、職員間で協議し、ご家族様のご希望も取り入れながら、利用者様本位になるよう支援しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時には利用者様、ご家族様からこれまでの生活歴や他介護サービス利用経過などアセスメントを実施しておます。また、入居後には改めて、利用者様やご家族様との会話の中で情報収集し、これまでの暮らしの把握を行っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員全員が利用者様の状態把握ができるように、介護記録表に記録し、お互いに申し送り等の連絡をきちんと行っております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の状態が変化したときや、ケアプラン更新時にはカンファレンスを実施し、モニタリングを行っております。利用者様、ご家族様のご意見・ご要望をくみ取りケアプランを作成し支援しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様個々に介護記録表を記載し、職員は情報を共有し、ケアの実践に生かすよう努力しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	例えば、利用者様の今後の支援について検討する際、ご家族様のご要望により、地域包括支援センターの職員の方に同席していただいたり、柔軟な対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月3～4組のボランティアの方の訪問を受け入れております。また、地域で開催される高齢者の集い「ふれあい広場」やイベントには率先して参加し、利用者様が地域で安心して生活できるように支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当施設は医療法人であるため、月2回の往診は法人内の医療機関より医師が来所しているが、入居前から受診されているかかりつけの医療機関の通院を希望される場合は、利用者様がご家族様と一緒に通院出来るよう支援しております。外来受診の際は『医療機関受診記録』に情報を記載したものを持参し、担当医様からもコメントを頂いております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月4回訪問看護師が来所し、利用者様の体調管理をして頂いております。また、体調変化が見られた場合には電話等で相談したり、主治医の指示により必要に応じて点滴などの対応をして頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院側へ利用者様の状態を正確に伝え、安心して治療が受けられるよう配慮しております。また、入院中にも職員が面会に行くなどし、治療経過の把握に努め、退院時には今後のケアの改善点・注意点などアドバイスを受け、今後のケアに反映しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時や運営推進会議の際に、ご家族様、地域の方へ「高齢者のリスク説明」並びに「終末期の見取り等の意向」について、説明し互いに確認を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の急変時には主治医や訪問看護スタッフに電話で問い合わせをし、指示に従い初期対応に当たっております。また、急変時の対応について外部の研修会に参加し、その後内部伝達講習会で他職員も学ぶ機会を設けております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月1回、災害種類の想定を変え、避難訓練を実施しております。避難訓練の状況は運営推進会議で地域の方、ご家族様には報告しており、地域の消防団の方とも協力体制を築いております。非常用食料なども常備しております。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊厳を守れるよう、言葉かけやケアの方法に注意して日々対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お好みの飲み物や洋服を選んで頂いたり、利用者様の自己決定ができるよう、過剰介護にならないように注意しております。入居時やケアプラン更新時にも何を望まれているのかをお聞きし、日々のケアに生かしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のマニュアルを重視することなく、利用者様の体調やご気分を確認しながら、希望に沿った支援ができるよう心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	当施設内で出張美容院を利用する方や、ご家族とともに馴染みある美容院へ行かれる方もおります。お洋服選びも自己決定を優先し、おしゃれを楽しめるように支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	職員は利用者様と一緒に野菜を苗から育て、収穫を楽しんでいただいております。また、野菜の皮むき等の調理の下ごしらえや、料理の盛り付けなどお手伝い頂くことで、食事の楽しみを得られるよう配慮しております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様個々の状態により、咀嚼困難な方には刻み食やミキサー食の提供、嚥下困難な方の水分にはトロミをつけるなど配慮しております。また、内容は訪問看護師や主治医にも報告しアドバイスをいただいております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の度に職員が声掛けし、利用者様個々に応じ、ご自分でできるところはやって頂き、磨き残し等は職員が介助しております。また、月2回歯科往診があり、口腔内の状態を見ていただいております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様個々に応じた排泄パターンを知り、尊厳を守りながら、トイレ誘導や排泄介助を実施しております。過剰介護にならないよう、利用者様が出来るところは実践いただけるように配慮しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日2回のリハビリ体操の実施により不活発による便秘を防ぐよう努力しております。また、週一回のヤクルト販売で購入した飲み物を飲まれることも、腸内環境を整えるのに役立っているように思われます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様のご希望や体調に応じ、入浴する曜日や順番を考慮しております。利用者様の尊厳に気を配り、また過剰介護にならないように、ご自分でできるところは洗っていただくなど、個々のペースで寛いでいただけるように配慮しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様はそれぞれ居室で自由に寛げる様に、必要な物、馴染みの物を配置して頂いております。また、気持ちよく過ごして頂けるよう温度管理などにも配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員2名によるダブルチェックを行い、間違いのないように十分に注意しております。また薬事情報は個々の介護記録に閉じ、職員は常日頃確認ができるようにしております。症状の変化時は主治医や訪問看護師に報告しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時やケアプラン更新の際にはアセスメントを行い、利用者様、ご家族様に生活歴などの情報を収集し、個々に応じた役割を持っていただくことで、自信が持て、張り合いのある生活ができるように支援を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月ドライブや外食の行事を実施しております。また、地域で開催される高齢者の集い「ふれあい広場」やイベントの参加、公共施設アオウゼや同法人内の他施設でのイベントにも積極的に参加し、好評をいただいております。ご家族との外出に行かれる際の支援も行っています。気候の良い時期は職員と施設周辺の散歩も実施しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様は直接お金を支払う機会はありませんが、施設内にヤクルト販売の方をお呼びし、職員と共に買い物を楽しんでいただきました。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様より手紙の投函を依頼された場合には職員が対応しております。また、ご家族への電話連絡を希望された場合にも、自由に施設の電話を利用していただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや居室などは適切な光・温度で過ごせるよう配慮しております。窓から外の様子を見ていただいたり、自然光を入れたり、月毎に壁面の飾りを職員と一緒に変えるなどし、季節の移ろいを感じていただけるように努力しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者様同士が会話やレクを楽しめるように、配慮しております。また、リビングや廊下に置かれたソファでくつろがれたり、他のユニットへの行き来も自由しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている	入居時にご利用者様、ご家族様に馴染みの物や、必要な物の持ち込みは自由であると説明しております。居心地良くお過ごし頂けるようにご家族の写真や、思い出の品などを飾っていらっしゃる方が多くみられます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	移動時の安全確保のために、手すりを配置しております。車いす用の低洗面台もあります。居室は引き戸、段差もなく安全に出入りが可能です。トイレや居室の場所がわかりやすいように目印を付けるなど工夫しております。		